

自分が好き・学校が好き・玖珠が好き

教育広報



2019 No. 101 **春**号

72年間、
ありがとう。

森中学校

日出生中学校

古後中学校

玖珠中学校

八幡中学校

山浦中学校

北山田中学校

特集

P2~3 中学校閉校式

P5~7 平成31年度玖珠町教育行政の重点方針



北山田中学校



八幡中学校



古後中学校

中学校閉校式

・北山田中・八幡中・古後中



3月16日
森中学校



3月24日
日出生中学校



3月23日
北山田中学校



地域への感謝と誇りを胸に
新たなステージへ

くす星翔中学校の開校にともない閉校となった町内6つの中学校で閉校式が行われました。閉校式典では、秋吉教育長が閉校告示を述べ、学校長から宿利町長へ校旗が返納されました。

各学校とも式典に引き続き実行委員会主催の記念行事が行われ、卒業生や在校生、地域の多くの方々の参加の下、72年間の歴史を振り返り、閉校を惜しみませんでした。

森中学校（卒業生8,698人）は、3月16日に閉校式があり、卒業生でプロギタリストの稲葉政裕さんによるトーク&ライブでは生徒や卒業生もステージに立ち、大いに盛り上がりました。

24日に行われた日出生中学校（卒業生897人）の閉校式には、太鼓を通じて交流を続けていた「瑞宝太鼓」（長崎息）のメンバーも駆けつけ、生徒とともに太鼓の演奏を披露。最後のステージを飾りました。

玖珠中学校（卒業生7,902人）は、18日に式典、23日に「思い出の宴」と題して記念行事が行われ、多くの卒業生・在校生が会食とともに



森中学校



日出生中学校



玖珠中学校



72年の歴史に幕

森中・日出生中・玖珠中



3月18日 23日
玖珠中学校

3月21日
八幡中学校



3月24日
古後中学校



にスライドショー等を楽しみました。
また、生徒によるバンド演奏もあり
賑わいました。

23日に行われた北山田中学校（卒業生5,920人）の閉校式では、開校した昭和22年に入学した櫻井哲子さんが、当時の中学校生活を語り、秋好末生さん、河野千代子さんが当時歌われていた「応援歌」を披露しました。

21日に行われた八幡中学校（卒業生2,934人）の閉校式では、スライドで72年間の歩みをふり振り返り、生徒が八幡中の歴史をまとめたプレゼンテーション（12ページ参照）を発表しました。

古後中学校（卒業生1,370人）では、24日に閉校式が行われ、歴代の校長や卒業生による思い出語り、生徒や古後神楽社のみなさんによる古後神楽も披露されました。
なお、山浦中学校の閉校式は、平成30年8月12日に行われました。

各中学校の閉校にあたり、故郷を離れて暮らす卒業生や中学校に縁のある方など、多くの人々が玖珠町を訪れました。北山田中学校の卒業式では、校地（グラウンド）を寄付していただいた故高橋善七氏の長女過能明美さんが関東より来校されました。



~ここから始まる新たな歴史~ くす星翔中学校 開校

町内7つの中学校が統合した新中学校「くす星翔中学校」が開校しました。4月9日、始業式に先立ち開校式が行われ、宿利町長が平原一幸校長へ校旗を授与。11日には入学式もあり、全校生徒347人での新たな中学校生活がスタートしました。

ドキドキ！試行登校

町内全域から生徒が集まるため、生徒は距離に応じてスクールバス、自転車、徒歩で登下校します。登下校の練習と学校の説明を兼ねて、3月25日と4月8日の2回試行登校が行われ、くす星翔中の仲間が一堂に会しました。



3月25日に行われた1回目の試行登校では、学年ごとにオリエンテーション、玖珠警察署による交通安全教室、校舎見学があり、生徒たちは学校生活のイメージを膨らませました。



内覧会には815人が来校

3月17日には内覧会が開かれ、入学予定の生徒や保護者だけでなく、地域の方々や旧森高校の卒業生など多くの来校者で賑わいました。



↑ 普通教室には電子黒板機能付きのプロジェクターを導入。また全館にネット環境を整備しています。

平成31年度 玖珠町教育行政の重点方針

教育行政の基調

現在の教育環境を取り巻く状況は、人口減少と少子高齢化の進展、情報通信技術の進歩に加え、グローバル社会の発展などにより社会状況が大きく変化する中で、規範意識や道徳心の低下、また、価値観の多様化、家庭や地域の教育力の低下など子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しています。

次世代を担う子どもたちが、心豊かで充実した生活を送るため、子どもたちの「生きる力」を育み、一人ひとりが思いやりや生きがいを持つ社会を実現させなければなりません。

そのためには、これまで実施してきた学力向上施策やコミュニティ・スクールのさらなる充実などの取組みを推進し、本町の教育行政を確かなものにするために、重点方針を定めて事業施策を展開していきます。

まず、学校教育においては、玖珠町第5次総合計画の基

本理念に則り、「生きる力と思いやりの心を育む学校教育の充実」を目標に掲げ、「知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成」「家庭・地域に信頼され、協働して子どもを育む学校教育の推進」「学校間・校種間のきめ細やかな連携」を重点として様々な取組みを行うとともに、地域の高校への支援を行います。

また、町内唯一の中学校となる、くす星翔中学校については、『生徒一人ひとりに「夢」と「絆」と「志」をとともに育む学校』を学校像とし、スムーズな運営ができるよう人員配置をするとともに、通学安全対策に万全を期していきます。

次に、社会教育においては、町民一人ひとりが生きがいを持つ暮らしができるよう学習機会の提供や、健康な体づくりのため、身近にスポーツに親しめる機会の充実、「協育」ネットワークを活用した総合的な子ども支援など、生涯学習の推進

を図ります。

また、「童話の里」の根幹をなす「日本のアンデルセン」久留島武彦を顕彰する久留島武彦記念館を通して、久留島武彦精神（信じ合うこと、助け合うこと、違いを認め合うこと）を学ぶことをはじめ、大切な歴史的资源や文化財の保護・活用

に努め、郷土の文化を大切にする町づくりを進めます。

さらに、互いの人権を尊重し差別のない明るい地域社会の実現を目指します。

本町のまちづくりのテーマである「童話の里」づくりは人づくりです。人が生涯にわたって生き生きと暮らすためには、教育の果たす役割はきわめて重要です。学校、家庭、地域がそれぞれ役割を果たしながら協働し、町民一人ひとりが夢を持ち、個々と地域の課題を掘り起こし、解決方法を探ることこそ「童話の里」づくりであるとの認識に立ちます。

I 学校教育

1. 確かな学力の定着・向上

「第4次玖珠町学力向上推進計画」に基づき、教育行政、学校、家庭、地域がそれぞれの役割を全うすることで、確かな学力の定着・向上を図ります。

2. 豊かな人間性の育成

あいさつ、時間、言葉遣いなど基本的な生活習慣の徹底を図るとともに、道徳教育や人権教育を充実させることによって、自己を尊ぶ豊かな人間性の育成を目指します。

3. 心身の健康と体力の向上

町内全小・中学校において「体力向上一校一実践」の取組を継続的に行い、体力の向上に努めるとともに、栄養教諭の活用等を通して食に関する指導の充実を図ります。

4. 特別支援教育の充実

障がいのある子どもの能力や可能性を最大限に伸ばし、社会的自立に必要な力を養うため、就学前から関係団体との連携を図るとともに、校内支援体制の充実、障がいの状態や特性に応じた「個別の指導計画」の作成と活用、特別支援教育支援員の配置等を行い、一人一人の教育的ニーズに応じた指導の充実に努めます。

5. 開かれた学校づくりの推進

学校公開日の設定や学校便り等を通じた積極的な情報発信によって、開かれた学校づくりを推進します。また、コミュニティ・スクールを活性化し、学校、家庭、地域が一体となって信頼される学校づくりを目指します。

6. 安心・安全な学校づくり

危機管理マニュアルの作成等による校内の安全体制

の整備、防災教育、交通安全教育等の充実、施設・設備の安全点検の徹底等を通して、安心・安全な学校づくりに努めます。

7. 組織的な学校運営体制づくりと教職員の資質・能力の向上

学校の教育目標達成に向けて組織的に取り組む学校運営体制を確立するとともに、互見授業や校内研修の充実、また研究推進校の指定や学校訪問等を通して、教職員の資質・能力の向上を図ります。

8. 郷土の先哲に学ぶ学習の推進

玖珠町出身の先哲に学ぶ学習を推進することを通して、郷土についての理解を深めるとともに、郷土を愛し、よりよくしようとする態度の育成を目指します。

9. 学校間・校種間の連携

7小学校とくす星翔中学校が連携し、中1ギャップ解消をはじめスムーズな中学校生活を送れるように取り組みます。また、小学校間

の連携も強化しながら義務教育9年間の教育活動を見据えた指導内容の共有や学校間の交流促進に努めます。さらに、くす星翔中学校と玖珠美山高校との校種間連携や公立幼稚園と小学校との校種間連携を積極的に推進します。

10. 地域の高校に対する支援と玖珠志学塾の運営

地域に唯一の高校である県立玖珠美山高校の広報等の支援を行うとともに同校生徒の進路達成に向けた支援として玖珠志学塾の効果的な運営に取組みます。

11. くす星翔中学校のスムーズな学校運営

「夢・絆・志とともに育む学校」を基本コンセプトとした新中学校について、生徒が新しい環境の下で統合に伴う混乱を早急に解消し、安心して教育が受けられるよう、ソフト面の充実を図っていきます。

12. 就学前教育の質の向上と町立幼稚園の振興

地域の認定こども園と連

携し、就学前教育研修会等を開催し、就学前教育の質の向上・充実を図ります。また、「玖珠町幼児教育振興プログラム」の推進を町立幼稚園が主体となつて行い、就学前教育環境の整備に努めます。

13. 安全・安心な学校給食の提供と地産地消・食育の推進

学校給食センターの施設・設備・備品等の更新・改修により、調理能力及び衛生管理を補強し、安全・安心で美味しい給食の提供に努めます。玖珠町で採れる新鮮で安全・安心な米や野菜などの食材を積極的に活用しながら、地域の農と食文化の素晴らしさを知る機会を設け、郷土愛を育む取組みを進めます。

り、本年度の社会教育施策を行います。

社会教育基本計画

基本目標

- ① 人づくり
生きがいを育む社会教育の推進
- ② 体づくり
心と体の調和を図る社会体育の充実
- ③ 心づくり
郷土の文化・歴史の学習、芸術創造力の育成

1. 地域の教育力の向上

地域づくりの主役である大人自身が地域の持つ課題を認識し、主体的な生涯学習に対する意識を高めることで、地域づくりに参加・協働する雰囲気づくりを進めます。また、子ども達と共に学び世代間の繋がりを持つことで、子ども達が大人になってからも地域を展させる力となるようにしなければなりません。

そのために下記事業に重点を置き、取組みを進めます。

- 「協育」ネットワーク連携促進事業

○世代に応じた各種学習活動の支援

○地域の学習活動・拠点の支援

○わらべの館の図書の実用

○メルサンの図書の充実と利用者の拡大

2. 子どもと大人

家庭と地域での教育

家庭や地域での学びは、人間形成の基礎を養う大切な役割を担っています。学習機会の充実を図ることにより各家庭の教育力の向上に繋げると共に、子ども達には、地域での交流や体験を通じた活動で、学び・考え・行動するといった人格を養う環境づくりをしなければなりません。

子どもの健全育成のためには、家庭・地域・学校と連携した支援を図る必要があります。

そのために下記事業に重点を置き、取組みを進めます。

- 青少年健全育成協議会への支援
- わらべサークル協議会への支援
- 児童文化の担い手の育成
- 家庭教育の支援

II 社会教育

社会教育基本計画（平成27年度から平成32年度まで）の3つの基本目標に沿った7つの重点方針によ

3. 生涯にわたるスポーツ・レクリエーションの推進

心身ともに健康で充実した毎日を過ごすためには、生涯にわたってスポーツ・レクリエーションを楽しむことが重要であり、活動団体及び指導者の育成、競技力向上の支援、体力向上・健康増進に関する情報や学習機会の提供をしていく必要があります。

そのため下記事業に重点を置き、取組みを進めます。

- スポーツ少年団活動の充実
- 総合型地域スポーツクラブ（童里夢スポーツクラブ）の育成
- すこやかスポーツ祭の実施

4. スポーツ環境の充実

町民のスポーツに対する興味はこれまで以上に高まっており、競技力向上、体力向上・健康増進のためにスポーツ施設等、環境の充実が必要です。

そのため下記事業に重点を置き、取組みを進めます。

○トレーニングルームの充実

5. 久留島武彦精神を継承する環境の充実

「童話の里」の根幹をなす「日本のアンデルセン」久留島武彦の偉業やその精神を後世に伝えるため、各年齢層に合った学習環境を充実させ、久留島武彦の幅広いネットワークが分かるよう多様な企画を試み、記念館を通じた調査・研究の成果を町民と共有することで、半世紀以上の歴史を誇る「童話の里」づくりのさらなる発展を目指します。

そのため下記事業に重点を置き、取組みを進めます。

- 日本童話祭の開催
- 久留島武彦顕彰全国語りべ大会の開催
- 久留島武彦顕彰全国児童生徒俳句大会の開催
- 各小学校で使用する久留島武彦副読本の活用
- 久留島武彦記念館による調査・資料収集・研究・企画展示・情報発信

6. 文化の創造と振興

文化芸術の振興は、「童話の里」づくりにとって重要な取組みです。文化の薫る感性豊かな町となるために、すぐれた文化芸術作品に触れる機会を充実し、理解を深め、親しめる環境づくりを行います。

そのため下記事業に重点を置き、取組みを進めます。

- 町美術展覧会・自主文化芸術活動への支援
- 巡回音楽会の開催
- 文化芸術活動を促進するための公民館フェスティバルの開催
- 文化芸術に触れる機会の提供
- 久留島武彦記念館による企画展の開催

7. 地域の歴史を学ぶ文化財の活用

文化財の保護・保存・整備に取組むと共に、その他の歴史的な資料を活かした学習の推進を図り、地域づくりにつながる文化財の活用を行っていきます。

そのため下記事業に重点を置き、取組みを進めます。

す。

- 日本遺産発信推進事業
- 角牟礼城跡・旧久留島氏庭園の整備
- 指定文化財の保護や保存継承支援

Ⅲ 人権教育

1. 学校教育における人権教育の充実

各学校においては、平成30年度に策定した「部落差別解消のための人権・同和教育基本方針」に則り、人権教育に係る年間指導計画を作成し、学校の教育活動全体を通して意図的・計画的に人権教育を推進します。

また、人権教育推進校の指定による研究成果の共有、人権に係る研修会への積極的な参加等によって、教職員の資質の向上を図り、人権教育の充実を目指します。

2. あらゆる場における人権教育の推進

「玖珠町人権施策基本計画」を基調に、わが国固有の人権問題である同和問題をはじめ、女性や子ども・

高齢者・障がい者・外国人・医療などさまざまな人権課題について正しく理解し、その解決に向けた意欲と実践力を持った住民を育成するため、あらゆる場において、学習機会の提供を人権確立・部落差別解消推進課と連携して進めます。

そのため下記事業に重点を置き、取組みを進めます。

- 人権公開講座の開催
- 広報くす「あなたの人権・わたしの人権」の掲載
- 部落差別の解消の推進に関する法律の目的に沿った事業実施

「児童生徒の更なる学力の向上」を目指して

～平成31年度 玖珠町学力向上推進計画～

玖珠町教育委員会は、平成28年度から平成30年度までの「第3次玖珠町学力向上推進計画」の成果と課題を踏まえ、新たに「第4次玖珠町学力向上推進計画」（平成31年度～令和3年度）を策定しました。

本年度は、新たなスタートの年として、町内すべての小・中学校で「全国の学力調査では全国平均を上回る。大分県の学力調査では、大分県平均を上回る。」という目標を達成するよう、学校・家庭・地域が一体となって様々な施策に取り組みます。そして、児童生徒の更なる学力向上を目指します。

平成31年度 玖珠町学力向上推進計画 ～抜粋～

① 学校の組織的な指導力の向上

重点的取組（施策）	具体的内容
1) 全教職員参加による学力向上プランの策定・実施	<ul style="list-style-type: none">●各種学力調査等を踏まえて、PDCAサイクルに基づいた学力向上プランを各校で作成します。●定着度の数値目標を設定するとともに、プランの実施状況を公表します。
2) 学力向上プランと連動した教育課程の編成	<ul style="list-style-type: none">●学力向上についての重点的取組が各教科・領域等において具体化されている教育課程を作成します。●教育課程を適正に管理運営し、短期間で評価及び改善を繰り返しながらよりよい教育課程を作り上げます
3) 改善のための学校評価の充実	<ul style="list-style-type: none">●実現可能な焦点化された重点目標を設定します。●重点目標に即した具体的取組を設定し、学校全体で組織的に取り組みます。●自己評価書及び学校関係者評価書を公表します。
4) 複数の教職員が関わる弾力的指導体制の構築	<ul style="list-style-type: none">●チームティーチングや習熟度別指導を活用し、個に応じた指導に取り組みます。●学力向上支援教員・専科教員等を活用して小学校における教科担任制等を積極的に導入します。
5) 小中連携の強化	<ul style="list-style-type: none">●年間3回以上小中連携会議を実施し、互見授業・相互参加授業や情報交換を通して小学校と中学校の連携を強化します。●小学校間の指導内容の共有及び統一を図ります。●学力向上に関する小中共通の指導項目を設定し、協働して徹底を図ります。

② 基礎・基本の定着と活用力の向上

重点的取組（施策）	具体的内容
1) 図書館活用教育の推進	<ul style="list-style-type: none">●図書館を活用した授業を積極的に取り入れ、児童生徒の読解力・思考力・表現力の伸長を図ります。
2) 個に応じたきめ細かな指導の充実	<ul style="list-style-type: none">●各校の実態に応じて習熟度別指導を積極的に導入し、個に応じたきめ細やかな指導に取り組みます。●習熟度別指導教員による授業公開等を通して、よりよい習熟度別指導のあり方を広めます。

3) 補充学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ●補充学習を組み入れた教育課程を編成します。 ●各校の実態に応じて長期休業中等の補充学習の充実に取り組みます。
4) 算数・数学確認テストの実施と活用	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校1年生から中学校3年生まで年間4回(4月,6月,10月,2月)実施し、算数・数学の学力の定着を図ります。 ●テストの結果を踏まえ、各学校の課題を明確にし、その課題を解決する取組を組織的に行います。
5) 英語確認テストの実施と活用	<ul style="list-style-type: none"> ●中学校1年生・2年生を対象に年間5回(4月,6月,10月,12月,3月)実施し、英語の基礎学力定着を図ります。
6) 町学力調査の実施と活用	<ul style="list-style-type: none"> ●12月に小学校1年生から中学校2年生を対象に実施します。 ●調査の結果を踏まえ、各校で年度内に復習する学習内容を明確にします。
7) 「小学校学習語彙集」の活用	<ul style="list-style-type: none"> ●町が作成した「小学校学習語彙集」を活用し、小学校国語・算数・理科の語彙の確実な習得に取り組みます。
8) ICT活用教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●ICT支援員を配置し、新学習指導要領に向けた教材研究や児童生徒が主体的、意欲的に取り組む学習に場を設定します。

③ 教職員の授業力の向上

重点的取組 (施策)	具体的内容
1) 町研究指定校の取組の充実	<ul style="list-style-type: none"> ●「教育研究推進校」「特色ある学校づくり推進校」を指定し、公開授業を通して研究の成果を広めます。
2) 学力向上支援教員の活用	<ul style="list-style-type: none"> ●学力向上支援教員を配置し、公開授業を通して多くの先生方に活用力を育てる授業のあり方を提案します。 ●他校訪問を訪問して先生方の授業力向上の支援をします。
3) 校内研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ●授業改善計画により、授業力の向上を目指した提案授業など校内での研修を充実します。 ●中学校における「学びに向かう学校づくり」を進めます。
4) 授業観察と互見授業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ●校長先生が日常的に授業観察を行い、先生方に具体的で的確な指導をします。 ●先生同士で積極的に授業を見合い、意見交換を通して授業力の向上を目指します。
5) 中学校教科部会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ●複数の教科担任による「タテ持ち」を実施します。 ●定期的な教科部会を開催します。

④ 地域住民との協働による教育力の向上と高校までの一貫した学力向上対策

重点的取組 (施策)	具体的内容
1) 積極的な学校公開(公開授業)の実施	<ul style="list-style-type: none"> ●各校、月1回以上の学校公開日を設定し、広く保護者・地域の方々に学校に足を運んでいただけるよう働きかけます。 ●町一斉学校公開月間(11月)を実施し、内容の充実を図ります。
2) コミュニティ・スクールの導入と活用	<ul style="list-style-type: none"> ●コミュニティ・スクール(学校運営協議会)を生かして保護者・地域の方々の学校経営への参画を図ります。
3) 寺子屋学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ●寺子屋学習の内容の充実を図ります。 ●夏季休業中のステップアップ講座と連動した取組を行います。
4) 玖珠志学塾の実施	<ul style="list-style-type: none"> ●地域に唯一の高校「玖珠美山高校」の生徒を対象とした無料の公営塾「玖珠志学塾」の運営を継続して行います。

「玖珠町幼児教育振興プログラム」を策定しました

★「幼児教育振興プログラム」とは？

小学校就学前の子どもに対する豊かな教育の機会が保障されるように、幼稚園、保育所、認定こども園、小学校、行政、家庭、地域社会が取り組むべき幼児教育に対する指針です。

★共通認識に基づいた幼児教育を

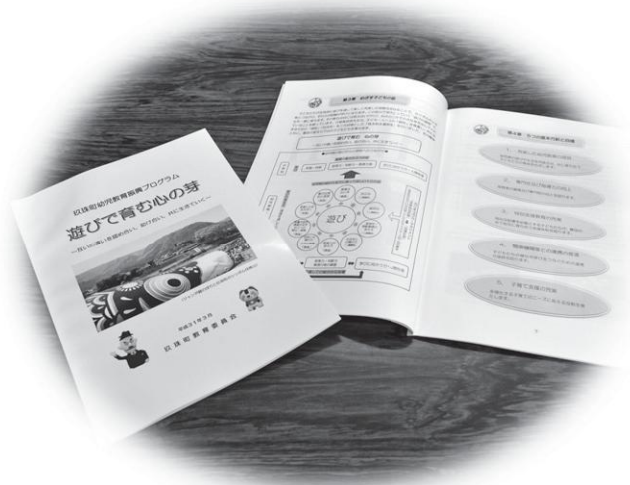
玖珠町では、平成26年度から、子ども・子育て支援新制度に係る懇談会や就学前教育研修会を町内の幼児教育施設の保育教諭・幼稚園教諭とともに取り組んできました。平成30年4月に幼児教育・保育の基準となる3つの法令が改訂され、3歳以上児の保育が「幼児教育」として共通化されるものとなりました。

そこで、玖珠町の子どもたちの教育についてどうあるべきか官民一体となり協議を重ね、本プログラムを策定しました。

★プログラムの特色は？

久留島武彦先生は、子ども一人ひとりの「個性」「自主性」を尊重し、共に生きるための「調和」（社会性）を二大目標とした「桃太郎主義」を提唱しました。玖珠町のプログラムでは、3法令に示された「幼児期の終わりまでの育ってほしい姿（10の姿）」に加え、久留島先生の精神に添った童話の里ならではの子どもたちを育むことを目指します。

★玖珠町幼児教育振興プログラムの概要



遊びで育む心の芽

～互いの違いを認め合い、助け合い、共に生きていく～

基本的な考え方

(1) 計画策定の趣旨

- ・平成27年4月『子ども子育て支援新制度』
- ・平成30年4月施行『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』3法令の改訂

(2) 幼児教育の範囲

- ・3歳以上の幼児期の施設（認定こども園・保育所・幼稚園）での教育

(3) 実施期間

- ・平成31年度～令和10年度（10年間）
- ※国の動向により、必要に応じて見直し

(4) 幼児教育をとりまく現状

- ・保育ニーズの変化と1号認定の減少
- ・2号認定の増加

(5) めざす子どもの姿

- 童話の里ならではの子ども育ち
- ・一人一人の「個性」の尊重
- ・共に生きるための「調和」

5つの基本方針と目標

(1) 充実した幼児教育の提供

- ①園における幼児教育の充実
- ②地域・文化を通しての育成

(2) 専門性及び指導力の向上

- ①専門性向上のための研修の充実
- ②組織力向上に向けた取組の推進

(3) 特別支援教育の充実

- ①個別の指導計画の作成・活用の方法等
- ②関係機関と連携した長期的な教育支援体制の充実

(4) 関係機関等との連携の推進

- ①園と小学校の連携の充実
- ②家庭や地域社会との連携の充実

(5) 子育て支援の充実

- ①子育て支援の拠点としての充実
- ②家庭の教育力の支援充実

幼児期の教育は…

心育て

中央公民館と自治会館の連携で元気な地域づくり



帆足館長（左）と
広報紙担当の有吉さん（右）

森自治会館館長 帆足ののぶさん
各自治会館で行われている事業にはたくさんの地域の方が参加され活動の拠点となっています。森地区で毎年実施している豊岡森交歓キャンプなど多くの方が参加する事業は、コミュニティ役員だけで実施するのは負担が大きいため、地域の方や中央公民館に協力をお願いし実行委員に入っていただきました。

そして、昨年行われた大分県公民館連合会の広報コンクールで「つのもれホールだより」が優秀賞を受賞しました。これからも地域の皆さんにわかりやすく情報を伝えていきたいと思います。今後も合同会議を重ね、中央公民館と自治会館で連携を深め元気の出る地域づくりをしていきたいと思っています。

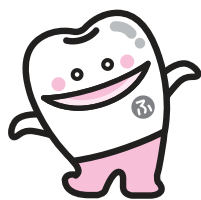
今年もフッ化物洗口が始まります

「ブクブクうがい」は 毎年度希望調査を実施します

小学校におけるフッ化物洗口事業も平成28年度の開始から3年目になります。

保護者に安全性等について理解を深めていただくために、今年度もPTA等にて事業説明を行います。

また、希望調査は毎年度提出が必要ですので、期日までの提出をお願いします。なお、今年度は中学校における実施に向けた検討も行っていく予定です。



特定防衛施設周辺整備交付金を活用して基金積み立てを行いました

■事業の名称

日出生台演習場関連特定事業（教育、スポーツ及び文化に関する事業：玖珠町学力向上推進事業基金）

■事業の目的

玖珠町立小・中学校に職員を配置することにより、学習環境の改善を行い、児童・生徒の学力向上を図る。

■事業の内容

児童・生徒の学力の向上に資する職員の雇用事業

■事業の始期及び終期

平成28年3月20日から令和7年3月31日まで

■事業に要する経費の総額 368,467,367円

■交付を受けた交付金の額 2,717,000円

教職員の異動（管理職のみ）

平成31年4月1日付（ ）内は前任校等

小学校

○塚脇小学校

教頭 佐藤清一郎（塚脇小）

○小田小学校

校長 中村 周市（北山田中）

○八幡小学校

教頭 岩丸 伸一（中津市豊田小）

○古後小学校

校長 後藤 久寿（古後中）

教頭 藤本 敏雄（日出生中）

中学校

○くす星翔中学校

校長 平原 一幸（森中）

教頭 佐藤 慎治（玖珠中）



八幡中学校が準優勝！

「ICTを活用した小・中学生プレゼンテーションコンテスト」



2月16日「ICTを活用した小・中学生プレゼンテーションコンテスト」が別府市公会堂で開催され、八幡中学校のプレゼン「八幡中の歴史～これからの伝えていく～」が準優勝に選ばれました。

この大会は、子どもたちの情報活用能力の向上を目的に大分県教育委員会が初めて開催したもので、予選を勝ち抜いた12チームが、来場者の前でプレゼンを披露しました。八幡中学校は「学校・地域の部」で発表。梶原輝彦さん、瀧石夏楓さん、後藤司さんの3名は、それぞれ役割分担し八幡中学校の開校から現在までを身振りを交え堂々と紹介、見事準優勝に輝きました。

スクールカップ ホッケー大会

2月24日「第13回玖珠町スクールカップホッケー大会」が玖珠町総合運動公園で開催されました。大会には低学年の部3チーム・高学年の部6チームが出場。穏やかな晴天に恵まれ、子どもたちは元気いっぱいボールを追いかけていました。

大会結果

優勝 高学年の部 小田スピードスター
低学年の部 塚脇チーム太田

スポーツマンシップ賞
八幡プリティスターズ



～53年間ありがとう～ 八幡幼稚園 閉園式

平成19年3月から休園となっていた八幡幼稚園の閉園式が、3月21日行われました。式では、秋吉教育長が閉園告示を行い、元園長の日隈敏子さんが「豊かな体験を通して園児は心の芽を育むことができた。園を支え協力して下さった地域の方々に心から感謝します。」と述べ、宿利町長に卒園台帳を返納しました。

八幡幼稚園は、昭和40年に設立され、休園までの53年間で990人が巣立ちました。休園中の施設は長期休暇サポート事業などに活用されてきましたが、閉園後も地域のコミュニティ活動などで利用される予定です。



卒園台帳を返納する日隈元園長